

<p><b>【技術の名称】</b>          Head-bar (ヘッドバー) 定着工法          —鉄筋先端に定着板を摩擦圧接した異形鉄筋の機械式定着工法—</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第10-27号          性能証明発効日：2011年3月25日</p> <p><b>【取得者】</b>          大成建設株式会社          ブイ・エス・エル・ジャパン株式会社</p>
---	--

**【技術の概要】**

本技術は、JIS G 3112 に適合する異形鉄筋の先端に定着板を摩擦圧接し、定着板の支圧作用と異形鉄筋の付着作用によって、異形鉄筋をコンクリートに定着する工法である。定着板を摩擦圧接した異形鉄筋を Head-bar (ヘッドバー) という。摩擦圧接とは、異形鉄筋の先端部に定着板を所定の圧力で押し付けて高速回転させ、その摩擦熱により加熱し、アブセットにより圧接する接合方法である。

**【技術開発の趣旨】**

従来の折り曲げフックを用いた鉄筋定着工法では、鉄筋の高強度化や太径化により曲げ加工が困難であったり、定着長さが長くなったりする問題が生じる。本技術は、そのような問題を解消し、配筋施工の合理化を図ることを意図して開発したものである。

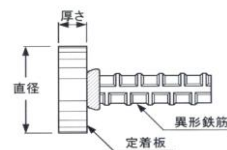
**【性能証明の内容】**

申込者提案の Head-bar (ヘッドバー) は、鉄筋母材の規格引張強さの荷重を受けても損傷しない性能を有し、Head-bar (ヘッドバー) 定着工法設計指針によって設計される Head-bar (ヘッドバー) 定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。

**《寸法および形状》**

単位：mm

呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
直径 (mm)	32	40	50	55	60	70	80	85	95	100
厚さ (mm)	11	13	16	18	20	24	26	28	31	33



**《適用範囲》**

- (1) 構造種別  
 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造およびそれらのプレキャストコンクリート造
- (2) 使用材料  
 コンクリート設計基準強度：21～60 N/mm<sup>2</sup>  
 鉄筋鋼種：SD295A, B、SD345、SD390、SD490  
 呼び径：D13～D41
- (3) 適用部位
  - ① 梁主筋および柱主筋の柱梁接合部への定着
  - ② 柱主筋の基礎部への定着
  - ③ 基礎梁主筋の基礎部への定着
  - ④ 壁筋の柱、梁および壁への定着
  - ⑤ 小梁主筋およびスラブ筋の梁および壁への定着
  - ⑥ アンカーボルトの定着

**《適用例》**



**【本技術の問合せ先】**

大成建設株式会社 技術センター建築技術研究所	担当者：渡辺英義 E-mail：hideyoshi.watanabe@sakura.taisei.co.jp
〒245-0051 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町344番1号	TEL：045-814-7232 FAX：045-814-7251
ブイ・エス・エル・ジャパン株式会社	担当者：野崎 博 E-mail：nozaki@vsl-japan.co.jp
〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番26号	TEL：03-3346-8913 FAX：03-3345-9153